

『ふるさと甚目寺「かかわる」「つたえる」「つながる」

－ E S D の視点に立った教育活動－』

あま市立甚目寺小学校

1 目的

甚目寺小学校では、学校教育目標「善く生きる子」にせまるために、平成22年度からE S Dに取り組んでいます。「ふるさと甚目寺」をキーワードに人と人とのつながり、人と地域とのつながりを大切にし、持続可能な社会を築くための人づくりを中心に活動を組み立て、人や地域と積極的に「かかわろう、伝えよう、つながろう」とする児童の育成をめざしています。今年度は、持続可能性のある自己肯定感の高い児童の育成を重点目標として教育活動を進めています。

2 内容

(1) 人とつながる活動

ア 人間関係づくりのための体験的活動

自分の感情を言葉で表現してどのように伝えていくとよいかを学び、人と接する態度の向上を図るためのハッピートークトレーニング、自分の意見や気持ちをその場にふさわしい表現で伝え、相手との良好な関係を築くためのアサーショントレーニングに取り組んでいます。今年度は、オンラインでのハッピートーク朝礼を始め、多くの体験談を聞く機会をいただきました。

イ 心を育てる活動

名古屋児童文学「波の会」のみなさんをお迎えし、2年ぶりにストーリーテリングをしていただきました。学年に応じた物語を厳選し、語りかけてくださるので、子どもたちは、お話の想像の世界に引き込まれ、豊かな時間を過ごしました。教師も人を引きつける語りを学ぶよい機会になりました。

(2) 地域とつながる活動

甚目寺小学校では、総合的な学習の時間を中心に各教科・道徳・特別活動などに関連づけながら、地域を舞台に学習を進めています。各学年、地域の様々な方と交流し、出前授業を受けたり、学んだことを発信したりしています。今年度は、新しく3年生があま市防災ネットのみなさんに出前授業をお願いしたり、児童会が中心になって、あま市の事業者が提案する「ループリサイクル2021」に参加したりしました。



防災教室

また、あま市甚目寺で活動されている、もくもく座による説教源氏節や校区内に生家がある小笠原登博士についての出前授業を受け、さらに地域の歴史・文化についての理解を深めました。

(3) 世界とつながる活動

ア 世界寺子屋運動

ユネスコが進めている世界寺子屋運動に参加しています。児童会が中心になって、みんなに世界の現状を知らせたり、教育施設の建設や運営に役立つ書き損じはがきキャンペーンや募金活動に参加したりしました。

イ S D G s を意識した教育活動

S D G s (持続可能な開発目標)を意識した取組を継続しています。今年度は、6年生が一人一台端末を活用して甚目寺の現在や未来だけでなく、世界ともつながっていることを意識しながら、様々な問題や課題等を考え、総合学習発表会では、『ふるさと甚目寺「私たちにできること」～SDG s ジブンゴト～』というテーマで発表しました。



情報教育

3 評価

出前授業や体験活動で本物を体験する機会を多くすることによって、子どもたちはすばらしい発見や気づきをします。この発見や気づきにより、学習する対象への興味・関心をさらに高め、自ら学んだり前向きに行動したりしようとする児童が増えました。

4 課題

今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一昨年まで継続してきた人とかかわる活動、とりわけ地域へ出向いての活動を自粛せざるを得ない状況が続きました。しかし、一人一台端末が導入されたことにより、新しい形で調べたりまとめたりして工夫して発信することができました。今後、地域とのかかわりが途絶えぬよう、内容の見直しを図りながら活動の進め方を工夫していきます。また、昨年度より取り組んでいるS D G s をさらに意識させることで、自分たちが地域・そして世界につながっていることを理解し、自らの生き方を見直して地域のために、さらには社会のために行動することができる「善く生きる大人』へと成長できるよう教育活動を進めていきます。